

社会で活躍する能力を育み 甲佐高生の夢実現を後押し

「普段の会話や行動にも目を配り、苦手な分野を一つ一つ克服できるよう、丁寧に指導しています」と話すのは、公営塾『あゆみ学舎』の講師・上松愛佳さん（北早川区）、越名智美さん（大町区）、

坂本紫織さん（北早川区）。同塾は、県立甲佐高校の生徒1人1人の夢を学習を通して実現するために、同高の魅力づくりの一環として、町教育委員会が平成29年に開塾。放課後午後4～9時と、火



公営塾『あゆみ学舎』

Ayumi-Gakusya

こうえいじゅく あゆみがくしゃ / 県立甲佐高校の魅力づくりの一環として、町教育委員会が開塾。上写真右から越名さん、上松さん、坂本さん。

金曜日の授業前に17人が受講している。各々の学習の進捗や進路、個性に合わせてカリキュラムを作成し、細やかにサポート。教科指導だけでなく、社会で必要なスキルを身に付けるゼミ授業やワークショップも開催。コミュニケーション能力や問題解決力などを磨き、生徒の夢を実現するために支援する。「個性をどう見つけてどう

サポートするかが楽しいです」と話す坂本さんは、「何を学習したいかを、生徒と相談して決めていきます。最近は自ら進んで『洋楽を翻訳したい』など、学習したいことを持ってきてくれます」と生徒たちの成長を笑顔で喜ぶ。

部活動後や下校のバスを待つ30分などの受講もフォロー。テスト期間での集中学習や自宅学習の支援など、学習支援の形態も生徒に合わせ、高校と連携して強気に生徒を後押しする。また、「多くの人と関わり、社会のことを知る機会を作りたい」と坂本さんが話すとおり、ITを利用した他県の高校生との合同ゼミなどで、外部との交流を企画。「今後は、さまざまな場面で必要となってくる小論文のゼミなども考えています」と、受験などを見ず上松さんは次の構想を語る。「やりたいことを自分で見つける力を身に付けてほしい。世界を広げていく足掛かりにしてほしいです」と話す3人は、今日も笑顔で生徒と向き合う。

広報 こうさ

2019年（平成31年）2月号
通巻595号